

目上の敵

(眼下の敵では有りません。そりゃあ映画)

JA5CLB 河野繁美 著

朝日音響(株)社報エイ・オー編集室 編

目次

目上の敵.....	1
両親は敵だ;1.....	1
両親は敵だ;2.....	3
両親は敵だ;3.....	5
教師は敵だ;1.....	7
教師は敵だ;2.....	9
教師は敵だ;3.....	12
上司は敵だ;1.....	14
上司は敵だ;2.....	16
上司は敵だ;3.....	18
常識は敵だ.....	20

目上の敵

(眼下の敵では有りません。そりゃあ映画)

両親は敵だ; 1

最近 学校での暴力やいじめ問題が、よく取り沙汰されています。でもこれは学校の生徒自身に或る能力が欠けて来たからです。

同じ事が教師にも一般社会では商売人・会社員達にも家庭に帰れば両親にも欠けています。戦後50年掛けて欠けてしまった物は何でしょう。

(前行 アンダーライン部分は 巧く懸けているでしょう。)

動物には無い 人間の持つ能力の多くは、長い間の学習に拠って獲得された物です。その学習先の 筆頭に位置するのが 家族・家庭です。

学校や会社が存在しなかった昔から 家族単位で過ごす時間の多かった人類が その知恵を 代々受け継ぐ間に、人類文化としての知識を得たのです。

少しスケールを変えると 国特有の文化、地方独自の気風、○×家の伝統 と云った物も、長い間に蓄積され受け継がれて来た物で有り 本人達が知らない間に獲得している 或いは押し付けられている物なのです。

無論 遺伝的に獲得した物も有ります。母親の乳首を求めて泣く赤ちゃん、旨い物を見ると涎(条件反射という学習結果か?)
…思春期に成ると…

逆に 他の動物では本能として残っているのに、人類が失ってしまった物が多々有ります。紙が無いと出来なくなった大便、

母乳の出ない人が多くなった母親、親が教えないと出来ない
多くの事柄・・・

その様に 失った本能なのか、学習で得ていた事を
学習しなくなって 再び失った物なのか、どちらかは さて置き
何か足りなく成っているのは確かです。

戦前の 特に陸軍を中心とする精神論；強い精神力さえ有れば
神風が吹いたり竹槍で敵機が落ちたりする程に、強く教育された
反動が 戦後の教育で物質方向に傾き、且つ 暴力を盲信的に
排除した事に拠って 失った物も有ります。

相手が どう思うか、どのくらい痛いかな、どのくらいで手足の骨が
折れるか、どの位で死ぬか（これが物質的基準で有るにも
関わらず）そういう経験が減った為に失った「経験則による尺度」
です。

斯くして 親と子、教師と生徒、プロとアマ、商売人と客、能力が
逆転している場面が 現代社会には多くなりました。

でも急に始まった事では有りません。

私が小学生時代 既に、親子の主張が逆転していました。
大人の主張は私です。しかし周囲の人は「まさか」と
信じてくれませんでした。

その結果 私が悪者にされ、当然 対抗手段を取り
益々事態が悪化します。いくら信じなくても事実の一つです。
私が死なない限り 最後には事実が勝ち、親らしい立場が
全く無くなっています。はい 子供の側から 勘当！

元々 親らしい立場の主張が出来ないので、当然です。
周囲の人達も 年齢の上下という常識に捕らわれ判断を
誤ったのです。世間にも恨み辛み!!!

両親は敵だ;2

よく言われました。「子供が そんな言葉を使うんじゃない」小学生の時 その事態に対し、見事にフィットする言葉を見つけて言った時です。

「趣旨がワカラン」「何ーっ!」親には叱られた事よりも必死で怒られた事の方が多かった様です。

私の親は 事の善悪で叱るのではなく、自分の感情で怒るのです。ですから「子供の くせに 親の言う事が聴けんのか」と言うパターンが多かった様です。

最も酷い例が 「あんたは この子の親では無い。あんたの妹じゃ!あんたに子供が 出来たら あんたの子供を そうやって怒れ。 怒るのは親じゃ」

夜更かしが過ぎて朝起きられず 毎日の様に遅刻や欠席を繰り返していた妹達に呆れて「お前ら単なる寝坊で遅刻や欠席が続いて 一体何事の積もりぞ」と 言い出した時の事です。善悪では無く単に 親からのライバル意識なのです。

ですから 何かを「誰が一番に取り上げたか」によって、相対的に親の立場は変わります。前記の《遅刻欠席》では 叱り始めた人間(私)が 一番怒られて悪者にされ、当の本人達は親に かばって貰えます。誰が正しかったか・・・それは 妹達の卒業時に解ります。出席日数が足りませんでした。

悪くても、黙っていれば 怒られません。「悪い」と言い出した者に対して「お前は 何だ」と言う事の方が重要になって来ます。ほぼ必ず100%でした。

時代は進み 私が当社の発足に出会った時の事です。

新法人設立に際し数人の所帯ですし、これから作る商品が無いと喰えない状況ですから 年の順もあり、ナンバー3の常務に成りました。

株式会社設立登記には7人の発起人が要ります。役員3名では4人不足します。そこで私の両親にも 承認を貰って名前だけ加えました。

名義上 出資率も分けねば成りません。私の出資金100万円を名前だけ両親に少し分けて書きました。その率を社長や専務より多めにする事で「常務の私の立場を 低く見せる事が出来る」と思って、父20万 母10万にしました。そして監査役の名を父に与えました。

すると 家庭内で「監査役の儂の言う事が聴けんのか」と無理難題を言います。また「儂は公務員じゃ。民間会社の役員は困る」とも言います。

そこで降ろしました。すると今度は「儂は株主じゃ儂の言う事が聴けんのか」と無理難題を言います。そこで株主の名義も変えました。もう何も有りません。

次は「会社の借金の保証人を下ろせ」と家庭内で怒鳴り散らしますが 借金は商工会推薦の無担保無保証の制度くらいしか使えませんでした。

その無保証を降ろせと 家庭内で騒ぐのです。この制度で借金出来たのは、父自身が「そういう制度が有る」と聞いて来た為です。その恩義は有りますが保証人でない人を どうやって降ろしましょうか。

父の友人で ある銀行の支店長に話しても その当時は信じてくれません。

両親は敵だ;3

私の弟が一時在籍した事は 社史で触れた事が有ります。就職先が無かった為 入社したのですが その後、多くの試練に見舞われ役員である私は 手取り額がゼロに成りました。しかし 平社員である弟には 従来通り給与が支払われます。

私に 家庭からクレームが付きました。「家に金を入れろ」と言うのです。

「僕の給与を止めているから 弟の給与が有る。給与に大差が無くても手取りが有る時には 弟の3倍入れて居ただろう」と言っても「弟妹達に示しが付かぬ」と 聞いてくれません。

結局「家に金を入れない者は飯を喰うな」「それでは職場を次々と辞めてブラブラしている妹達は何だ」(2で述べた学校をサボっていたツケです)「それは収入が無いから小遣いをやらんとイカン」「そんなアホな」

結果的に 会社の近くの食堂のツケで食事をし、家で食べなく成りました。すると父は それで我慢が出来ずに「この家は儂の家じゃ。金を払わぬ者は使うな」と玄関の鍵を締めて 入れてくれません。

母親からは「相手にせんでエエ。自分の家を自分の息子が使ってるだけ」と言ってくれても、父の目の前で 玄関を勝手に開けてくれる訳では有りません。

合板で出来たドアでしたから 足で蹴り抜いて、穴から手を入れて鍵を開けました。

父は 当時現役の国家公務員です。経営上の借金に対し銀行は「父の保証だの父の財産を担保に」だの言います。無担保無保証

制度の保証を「外せ」と 喚く人にです。

銀行員も 結果的に、それだけ理不尽な主張をした事に成ります。

いくら「知らなかった」と弁明しても、私が100,0%の説明をしたのに聞き容れ なかった事実は 消えません。 悪いけれど決して忘れません。

決して諦めず 全ての敵への、復讐の機会を狙っています。

怨念 怨念 怨念

「済んだ事を言うな」「ヘッ 勝手都合の 宜しい話ですな。警察は 済んだ事件ばかり追求してマッセ。それに裁判所も 済んだ事を根掘り葉掘り やってマッセ」

「ヒトの事を言うな」「あんたは私というヒトの事を言ってマッセ。第一 警察も裁判所も政府も 皆 ヒトの事を やってマッセ」後は無茶苦茶。

偉い筈の目上の人は皆 こういう風に、ずるい人で有り弱い者を犠牲にして ねじ伏せようとします。道徳を教えていた先生もネ。

祖母が「**さん(父)は子供をワヤ(滅茶苦茶)にする」と言っていた事を成人後 知らされました。子供に色々因縁を付け泣くまで虐めて憂さ晴らし!

決して諦めない・・・これが問題解決の最上手手段です。そして感情的に成らず事態を客観的且つ正確に把握する事。間違った解釈を元に判断しても 間違った結果しか出ません。正しい結果を得る為には 冷静且つ論理的に処理しなければ成りません。気分が悪い・気に入らないなら その理由をも示すべきです。

教師は敵だ;1

私が小学校で教育を受けた時代 教師には権威が有りました。小学生の言う事より教師の言う事が信用されます。

だから教師の人間性が出来ていなくとも 教師の言う事が通ります。小学生は文句を言っても通りません。

教師は 家庭の憂さ晴らしに、生徒を殴る事さえ出来ます。思い違いを言い通す事も出来ます。生徒に言い掛かりを付けて生徒を悪者にする事も出来ます。

例1;

学校での掃除,草抜き等は必ず さぼっている様に言われました。事実は 要領良い掃除を教えられた事がないので、進まないだけです。

全く効率が上がらない事を 只 繰り返しませんから 止まっています。

又 掃除という言葉は 具体的動作では有りません。机や椅子を除ける と云う具体動作の発想に欠けていますから、オロオロするばかりです。

更に草は握って引くだけでは抜けずに ちぎれるだけです。「腰を入れる」等と言われても(今は又 別の想像をしますが)具体的に実行できません。

卵を鶏が「かえす」と言われて、何回も逆さまにヒックリ返してみましたが 何時まで待っても ヒヨコには成りませんでした。

例2;

ある時3日間 便秘で、検便を持って行けませんでした。「出ない筈は無い。アンタが忘れたんヨ」 だって本当に

出てないのです・・・

例3；

「休み時間に 教室の後ろで暴れた人は 立っていなさい」
暴れていない私を「暴れた」と主張して聞き容れません。暴れた
本人達が 私の事を「河野は暴れてない」と言ってくれているのに
聞きません。

これには頭に来たので「立たされた場所の壁を崩してやる」と
主張して その時間中ずっと やっていました。しかし教師に
命令されると 本能的に、命令通り立たざるを得なかった程の
権威なのです。

例4；

ある頃 マッチガンと言う小さなピストルのプラモデルが流行り
ました。

みんな学校に持ってきて マッチ棒を飛ばして遊びます。
ついには授業中に先生が 黒板の方を向いている時に
飛び交う所まで行きます。

そのうち 先生の目に入り「マッチガンを持っている者は
出しなさい」

「僕は授業中に飛ばしていません」

「言い訳を しなさんな」

「本当です」

「そんなに渡すのが嫌なら ずっと持っていなさい」

「はい！」

授業中ずっと握って振りかざしていた。元々は そうでなかった
のに・・・

「言い訳をするな」と言う言葉が大嫌いだ！

教師は敵だ;2

大体目上の者は 自分の方が悪かったり 対応するのが面倒くさい時に、正当な事由を潰す為に 次の様な言葉でごまかす奴ばかりだ。

言い訳; 訳を言うのが何故悪い。間違われて、申し開きをするのが何故悪い。御前らの様な奴らが 冤罪を作り、無実の者を苦しめてきたのだ。死んでも鞭を打ってやる。そう覚えて置け!

もう一つ「口返事をするな」「口で返事をせずに 何で返事をするんだ!」「口返事」と言う言葉が有る事自体 社会が間違っている証拠だ!

ついでに怒っている訳では無いが 意味の通らない言葉を上げよう。

《時代劇》

どの時代だ!《時代》と言うのは 全ての時代の名称であって、江戸時代という特定の時代ではない。誰だ! こんな名前を付けた奴は!

例5;

右側通行で廊下を静かに歩いて行きました。そとでは無く普通にです。

まもなく2階の階段が近付く所の角に来ました。別のクラスの担任が階段を飛び降りる様に 左側通行で降りて来て、出会い頭に衝突しました。

何も言わずに躊躇無く顔を殴られても 相手が先生である事と突然で、何も言えません。何時も涙脆いのに 涙も出て来ない程啞然としたままでした。

後から考える程 腹が立って ムラムラしてきました。

この先生は後に 息子に先立たれて、ショボクっていた。

ザマを見ろ!

「ザマを見ろ」と言うと「そういう考え方は良くない」と もっと考え方が悪い親や教師達と言います。そう言われるべき事を彼らが最初に しています。 ザマを見ろと言われる理由が先に有るのです。

犯人が警察官に「俺を逮捕するのは良くない。留置するのも良くない」と言っても 誰も相手にしませんが、言うのが教師であったり親であると、皆 そちらの方に従います。

しかし この人達が親や教師に見える 貴方は、判断力の無い人です。彼らが 姿形で教師や親に見えても、言動は親や教師と言えないのですから、それが解った時点から親や教師として扱うべきでは有りません。

この説明を受けても尚 躊躇している人は、判断を誤っているのです。増してや そういう教師や親達自身が、自分の事を言われているのに「そういう考え方は良くない」等と諭すのは 笑止千万。

例6;

組立体操の時 背の高い者は下です。肩に 上の者の足が乗ります。その足が異様に痛いので「痛い」と言いました。

「皆痛い」との返事。

ところが終わってみると 体操服の下で、肩の皮膚が裂けているのです。

「皆 皮膚が裂けて痛いのですか？」

「何かファスナーでも有ったんだろう」

「皆が痛いかどうか」の回答では有りませんし

皆の肩が裂けている事の確認でも有りません。

ファスナーは 服に有りません。

後は まともに返事をしません。どうして「そんな事とは思わなかった」と弁解できないのでしょうか。思い違いをされた方よりも、した方が悪いのです。

教師は敵だ; 3

教師や両親など目上の者は、目下の者の喋る事を
まともに捉えてくれません。

人間ですから間違いは有ります。しかし 間違っても訂正しない
のが教師であり親であり議員も公務員も・・・つまり、目上の人で
しょう。

教師は大抵 自分の都合で嘘を押し通す。生徒を犠牲にして
我を通す。憂さ晴らしに 理由無く生徒を怒る。殴る。それが通用
するのです。

それでも この様な言動を、決して見せなかった教師が
居るには居ます。

教えて貰った教師全員の中で 合計5人程でしょうか・・・
尊敬申し上げます。

世の中は 今までの やり方が間違っているにも 気付いてない
人と、気付いて居ても何も出来ない人が 殆どを占めています。

間違いか否かまで 分類されない事でも、何も出来ない事が
多々有ります。

某大学の先生が 最近 次の様な事を述べていました。

上述のように**を作る作業はチョットした工夫の連続ですが、
私を含めて多くの方は 普段、余り(工作に関する)工夫をせずに
暮らしているようで最初は何も出来ない様です。

数日間、作業方法を教えながら手伝って貰うと次第に
工夫しながらの作業に 慣れるのですが、1日しか手伝って
くれない人に 1日付き合うのは バカバカしいと思うのです。

スケールを企業に当てはめても同じ事です。現存する会社の中で必然的に生き残っている会社が どれほど有りましょうか。

単に 先代が築いた日常の上に 漫然と日々を送っていて、伝統通りの事をしていれば 一応 成り立っていたのです。

ですから 波乱が訪れた時にも 対処できる能力を持っていません。その能力を奪ったのが 我々の世代で既に始まっていた、テストによる教育でしょう。どれかが正しい筈だから 与えられた選択肢の中から選びます。

しかし選択肢の無い創造的問題で在ったり 与えられた選択肢の中に正解が無い事も 在るのが、社会生活や商売そして政治・軍事では 常識です。

つまり今までの学校教育が役立つのは 限られた仮定枠の中だけなのです。

今まで その様な教育を受けてきた人達は 当然 実践社会で役立ちません。

その役立たない人の 間違った判断力が、上司として 或いは経営者として 又は行政責任者として のさばっているのが現状です。

今 敵のミサイルが我国のタンカー目懸けて近付いています。どう対処するか 命中する迄の10秒間に、防衛庁長官と首相が次の選択肢の中から 正解を選びましょう。

1;降伏する。2;抗議する。3;無視する。4;祈る。・・・

日本のマニュアルに 5;報復する。 と言うのは無いでしょうが、私には有ります。もっとも それが有ったとしても、決議時間が間に合わないでしょう。

単に現時点を見る限り 会社が大きい事や儲けている事、地位が上である事、それだけで 横柄な口を偉そうに叩きます。

上司は敵だ; 1

私が初めて就職に入ったのは 当時輸出OEM専門会社の
県内誘致工場で操業開始3年目を迎える、F電機徳島工場でした。

若い人達が現地採用されていたので 私も希望に燃えて
入社しました。

現場の 技術的仕事をしたいと思っていましたが 何時まで
待っても資材とか外注に対応する仕事しか させて貰えません。

重ねて「現場を希望する」と主張しましたところ、製造ラインの
修理者として配属してくれました。ステレオやラジオは 指示通りに
組み立てた(積もりの)物でも、完璧には組み立てられていない
物が 多々有ります。

動作検査すると鳴らない物が有り 組立ミスを発見しては
修理します。

鳴った物を調整すると その中から調整きれない物が出ます。
それを又 修理します。

楽しい毎日でした。修理の腕だって決して先輩達にも負けません。

会社側が考えていたのは、私が工業系の学校を出てないので
間接部門で使う事でした。しかし 当の本人の事で在っても
一社員に そんな事は言いません。

うるさく言ったから理由も解ったし、そうでは無いと言う主張で
移動できました。

黙っていたら 違った解釈で、そのままです。その上司の器量
以上の判断は有り得ません。

私が入社した時 この会社は操業開始当時に新卒で入社した

若い人達が、末端管理職に 就いていました。21~22才です。
若さ故に 確かに張り切ってやっていますが 何か変です。
(私も もっと若いので、もっと もっと 変?…)

後から そこそこの年の人が入社しますと、若い上司の
やっている事が変だとか、頼りないと解ります。
そこで もっと上の方に訴えます。

訴える内容は当然ながら 至極 尤もな話です。
程無く 尤もな話をする人も昇進し、役が付きます。

多少ハッキリで 偉そうに 尤もらしく言える人は 皆
役付きになり、主任職は 内規で1級2級3級と分け 3級は
社内放送呼出でも「誰それ主任」とは呼ばない と云う規定まで
有ったそうな…

そうして役職者が増え続け、操業開始当初一つのコンベアライン
(20~40人)の統括者が班長で在ったのに 順次 係長になり、
課長になり…部署も部下も増えないのに、職名だけが格上げ
されて行きます。

操業5年で 労働争議が起きて、工場閉鎖を宣言するのですが
その時には課長の数が係長を上回り、班長というのは
気の利いた女子という割振りになっていました。

課長は組合員で無いから 全社員が課長ならストライキも無くて
イネエ!

上司は敵だ;2

技術知識の低い人が 本社からの出向者なので、技術者として通っています。管理職も子会社に出向すると 1~2ランク上の職位に就けます。

すると「家族は敵だ」「教師は敵だ」で述べた 子供と親、生徒と先生のように若手の優秀な社員とは 能力が逆転している事も有ります。

平社員が物理的な間違いを指摘しているのに頑として受け付けません。本社出向の名に懸けて・・・爺ツチャマの名だったか？

ある現地採用者に「電源プラグが差し込まれていない」と言われても聴かず、とうとう最後まで応酬して 上司から怒られた出向社員・・・

量産試作時点で「電源の電解コンデンサが+-逆」と言われたのに無視し、通電時点まで流れて爆発！

私は 量産開始直後に「(別の)コンデンサの容量が一桁違う」と訴えたのに「そんな事は無い。機種によって多少の差は有る」と生産し 検査時点まで流れ、高音が全く出ないと解るまで量産進行！

出向者と現地採用の間には、能力の有無よりも遥かに大きい壁が有ります。

能力の有る人を活用するよりも、能力の無い人の立場を守る為に躍起になります。

間違いを正す事による会社の利益よりも、間違いを隠して自分の立場を通し、上司に悪く思われない様に振る舞う事の利益が 大事です。

どこの会社でも良く有る提案制度・・・良くダメになって
度々作らないとイケナイ!

トラッキング調整という物が 広い受信範囲を持った受信機には
存在します。

当社製品は スポットを受信するだけなので、有りません。

ある時 ある同僚(何を隠そう 当社元社員JH5FRVの
御主人)が、提案したトラッキング不良傾向に対する提案です。

「全製品ともコイルのLが大きすぎるから コイルの巻き数を
一回減らして欲しい」と言う様な提案だったと思います。何時まで
待っても回答が有りません。

皆で聞きに行きました。すると生産技術課長(だったと思います)
が「ああ あれはな、共振周波数 $=1/2 \pi \sqrt{LC}$ じゃから
コイルよりもコンデンサーの方を変えた方が楽じゃろうと言う
結論で 済んで奥尔」

(この方 今 某商工会議所の経営指導員です。
やはり技術指導員には成ってない!)

提案者M君が笑い出した。「はははーそれだったら
コンデンサばかりで共振回路を造ったらエエから、コイルや
止めてしもうたらエエワ」

$1/2 \pi \sqrt{LC}$ の公式を知っているだけでは役に立たない。
同公式でLを大小2種類に固定し、Cの可変幅を決め
周波数範囲がドーなるか 計算した事がない?

生産技術課長の技術知識は、若い平社員の技術知識に劣るノダ。
逆にコンデンサの時だって「4の5の」言って引き延ばし
手は下さない。

上司は敵だ;3

先のコンデンサー側の話をしよう。

温度特性など あまり吟味せずに決められた定数のコンデンサーが、可変コンデンサー(バリコン)に 並列接続されている。

元々機械的アナログ回路部品で 適当な点にチューニングするダイヤル目盛りだから、温度変化でズレて来ても ダイヤルをチョット回せば済む。

ユーザーが「あれ?ずれたかな? ダイヤルノブを回してしまったのかな?・・・」だから設計も 気にしない。

そこで夏場に設計された機械は 冬場になると並列接続されたコンデンサ(だけの要因でも無いのだが、結果的に温度補償が必要で)が容量不足の症状を呈し、調整しきれない。

冬場に設計された機械は逆に、夏場 容量過多となる。

米国向け輸出品は FMチューナーの受信範囲が 90~108MHzで、ちょうど日本ではテレビの1~3チャンネルであるが、半固定可変コンデンサ(トリマーと呼ぶ)を幾ら調整しても巧く受信範囲を90~108MHzの目盛りに合わせられない。

本当は実験によって 容量値自体と共に 温度補償型コンデンサの温度係数が合う物を 決めて、付加する設計で なければならない。でも それを、してないのだ。

末端の作業者が 容量を変えてくれと幾ら陳情しても 4の5の6の・・・と言い逃れて 相手にしてくれない。調整しきれないからと言って山積みすれば、管理職が来て怒る。怒る人に訳を言っても 理解しないで、怒り散らすだけで何も

指示できない。勝手に数値を変えると 設計変更でバイヤーから怒られるのだ。

仕方ないから末端作業者は、勝手に違う数値のコンデンサーに付け替える。その部品は 何故か、すんなり支給してくれるのだ。

ある時 本社から設計として赴任してきたばかりで、若い物わがりの良さそうな人物に 懲りもせず同仕事を訴えてみた。

筆者が3年半在社した このF社の中で、この人物I氏だけが「どれどれ、あーそう云う事か」と二つ返事で すぐ処理した。

他の人は「どの位のパーセントか データーを採って見ないとワカラン」と言うのが最も誠意有る回答で、それとてそのデーターを自分が採る訳でも、採る事を命令する訳でも無い。そのままだ。

後で聞くと このI氏は電気屋の息子だった。
道理で実地と商売が判っている訳だ。
もともと 程なく退社したそうな・・・
周りが これじゃあ居着かないワナア・・・

常識は敵だ

同僚は敵だ 権威は敵だ 銀行は敵だ。

銀行も 今の資産を見て ペコペコします。

これからどうなるかを見抜く能力は有りませんから、それよりも今を見て判断すれば、その上司も又それで納得します。

バランスは味方だ

専務 常務 工場長 ピコ インター

カーラジオ技術研修の受講生と 背後の工場長

コイルのロスと不良 理由を説明できた人は居ない

長期スト風が吹いたら低賃金地域移転

好人 無能管理職

現存する会社の中で 必然的に生き残っている会社が
どれほど有るか、と云う事に 「教師は敵だ」の項で
少し触れました。

単に 先代が築いた日常の上に 漫然と日々を送っていて、
伝統通りの事をしていれば一応 立派に成り立っています。

今 資産が有れば偉そうに言えます。

銀行も 今の時点での資産を見て ペコペコします。

創業社長が まだ現役の会社なら、そういう事が無いので
しょうか？ いいえ 現存する そう云った会社の多くは、「作れば
売れる」好景気時代に創業したとか 親会社から自然に仕事が
流れて来る状況下で、創業しただけの会社です。

目上の敵

(眼下の敵では有りません。そりゃあ映画)

2013年 4月17日 PDF形式 第1版 発行

- 著 者 河野 繁美 (JA5CLB)
- 編集人 朝日音響(株)社報編集室
- 発行所 朝日音響株式会社
〒771-1350
徳島県板野郡上板町瀬部
FAX 088-694-5544(代)
TEL 088-694-2411(代)
<http://www.asahionkyo.co.jp/>

常に半歩、先を走る



朝日音響株式会社